



学校だより No. 67

平成27年12月14日

あすなろ

東松島市立大曲小学校



学校教育目標『心もからだも健康で 明るく力いっぱい生きる 子どもを育てる』

第2回学校評議員会

大曲小学校学校評議員さんです。

- ★高崎 恵子 様・読み聞かせボランティア「おはなしのはなたば」創立者
- ★阿部 悦子 様・読み聞かせボランティア「おはなしのはなたば」会員
- ★菅原 淳 様・五味倉地区自治会長、自主防災役員
- ★新田 志津 様・大曲小学校PTA会長
- ★富山 順一 様・大曲市民センター所長

平成27年度 第2回学校評議員会は、3日(木)校長室で5名の評議員に来校していただき、学校からは、校長・教頭・村上教務主任が参加し、夏休みから2学期の大曲小の取組、児童の様子について意見交換をしました。始めに、学校から、校長より本校の取組について説明がありました。

大曲小の取組について

- 学校が、地域に見守られながら運営されていることを感じる。地区の防災組織と連携しての訓練などの取組によって防災意識が高められている。また、「まるごと大曲ふれ愛祭り」への参加によって子どもたちが地域との深い交流の機会をいただいている。
- 第2学期の始業式では、「大曲のいいところをたくさん探そう」と呼び掛けた。学校内のことは、学校HPや学校だよりで地区内に学校の取組を発信するとともに、児童の発表を見ていただいたり地域の方の来校機会を作るようにしている。
- 学力テスト、運動能力テスト等諸検査の結果を分析し、これまでの指導の成果と課題を明確にし、職員で共通理解を図っている。今後も、保護者の理解・協力をいただきながら関係機関とも連携を取り、子どもたちの成長を図りたい。
- 生活習慣の確立に力を入れている。特に挨拶では「元気のパワーを使い、ありがとうの感謝を伝える」指導を行っている。心を込めた元気な挨拶の声も増えてきている。最近の6年生の朝の自主的清掃(校舎周辺の落ち葉拾い)など、進んでよいことをしようとするいい雰囲気が醸し出され、下級生がそれに続こうとしている。子どもたちの挨拶の声がよくなっている。進んで挨拶をする子、元気に挨拶をする子が増えてきて気持ちよいものがある。

*同日行いました授業参観・学年懇談への参加ありがとうございました。写真は、会議と授業参観の様子です。



1年1組



1年2組



2年は学年で町探検発表会



主な話題として、 学校と地域との安全対策について

○地区内に事故が予想される危険箇所があり、横断歩道、踏切の警報・遮断機の設置などは行政にお願いし続けたい。児童数の減少によって、一人で下校することも地区によって見られるようである。児童の安全を最優先に、通学路の見直し、不審者情報の周知徹底、防止対策など講じたい。防犯カメラの設置、いま機能していない「子ども110番」の家制度、ステッカーの設置など可能なところから即座に進める必要がある。実際に、地域からの声で看板、表示などが設置されたところもある。また、下校時間は決められているものの、学校帰りに塾や習い事などに直接行く児童に対しての安全策を講じる必要があるのではないかと。今年度より、東松島市で設置した通学路検討委員会などの組織を活用しての安全対策の充実を図りたい。

学校と地域との連携について

- 開校60周年事業を通して、大曲小の児童が愛校心とともに、地区内の方と触れ合い、地域のことに興味関心を持つようになったことは大きな成果である。記念行事を地域の方と何度となく共有し、共に祝おうとする雰囲気ができたことはよかった。
- 学校から、HP、学校だよりなどで子どもたちの様子を知らせてくれることはありがたい。特に、小学生のいない家庭にとって学校の様子を知る貴重な情報源となる。保護者はもちろん、地域の方の声も拾いながら学校経営に生かせば、さらに充実した教育ができるのではないかと。地域の声を聞く機会も設けてはどうか。
- 「まるごと大曲ふれ愛祭り」での、大曲小児童の活躍はすばらしかった。来年度も継続してほしい。6年生の発表・意見発表、防災についての提言もよかった。あすなる発表会や授業で学んだことを市民の前で発表する機会を多くしてほしい。和太鼓を演奏している児童の表情がとてもよかった。
- 読み聞かせは子どもたちにも定着し、楽しみにしている子が多い。聞く姿勢もよい。今年は市図書館と連携し「アウトリーチ理科読」を行ったりと読書の幅も広がった。図書館司書やボランティアさんの協力もあり図書室の充実ぶりがうかがえる。読み聞かせなどは、即効性のもではないが、子どもの心に小さな種を撒き続けていくことが大切である。
- 大曲市民センター事業の、「子ども塾」は大好評だった。地区内の方がボランティアで指導してくれ、一緒にお昼を食べるといった試みもよい。親や先生だけでなく、多くの大人と触れ合うことから学ぶことも多いようである。大曲小の児童にとって、市民センターがますます身近な場所となってほしい。また、子どもや親のニーズ、地区内の人材を掘り起こし、共に活動を通して地域が活性化する方法を考えていきたい。

学校への要望について

- 学力調査の結果などを見ると、全体的に落ち込んでいる部分が見られる。十分に指導の機会を持ち、どの子にも力を付けてあげてほしい。
- スマホ、携帯電話使用などについては、禁止するだけでなく、使用する際のリスクも含め正しい使い方を指導していく必要がある。文明進化の中で情報機器の活用は後戻りできないことであろうから、子どものうちにこそ正しい知識を覚えておく必要がある。
- 大曲小では、体験学習やいろいろな人との触れ合いを通して豊かな情操を育む教育を実践していただいていることに感謝している。本物に触れたり、自分で為し得たことは生きる上での力となる。
- 朝、玄関の掃除を進んでやってくれる児童の表情がいい。話していて気持ちよい。担任の先生はじめ先生方も率先してやっている姿がすばらしい。子どもたちが、学校の中で生き生きと生活できるよう今後も指導をお願いしたい。 *写真は、授業参観の様子です。 ↓



あすなる1・2組



3年1組



4年1組



4年2組



5年1組



5年2組



6年1組



6年2組

